

懇談会開催日:令和6年7月10日(水)

地区:宮山

要望・意見内容	市長回答
宮本地区コミュニティセンターが避難所になっているが狭い。宮山小学校の環境を整備して、避難所として利用できるように、してほしい。また、小学校への進入路とも狭いため、合わせて整備してほしい。	宮山小学校について、急勾配の斜面は県が調査設計をして崩れないように準備を行っている」と聞いている。避難経路については、大規模な整備は難しいと思うので、できることを相談させてもらいながら考えていきたい。
ふじが丘地区の坂が上がったところが猿の道になっている。子どもたちが怖がるため、獣害対策のロードマップを示してほしい。	現況把握をし、どこまでできるか調べていきたい。
ふじが丘地区は、集中浄化になっているが、浄化センターが古くなってきているので、下水道を早く整備してほしい。	下水道については、圧縮して計画を進めているが、現状としては浄化センターの改修補助制度があるので、そちらの活用をいただければと思う。
サル等獣害対策として、花火で追い払ったりしているが、効果的な方法を教えてほしい。獣害対策を行っている町民も高齢化してくる。今後、捕獲した動物の処理など市の考えを聞きたい。	獣害対策の高齢化については、沼木地区では、猟友会に4人くらい若い人が入ったと聞いている。猿等の捕獲の単価を上げることで、猟師の方の収入を少しでも上げることができればと考えており、猟友会などから情報を得ながら、検討したい。 (市からの回答) 獣害アプリを獣害被害のある地区の方に使用してもらい、個体数や動きを把握し、檻の設置などをして捕獲に努めていきたい。
獣害対策について、3連発、5連発の花火で追い払っても、捕獲の支障にならないか。	近くに捕獲檻がなければ、追い払ってもらってよい。
いつまでに、どれだけ個体数を減らしたいのか。具体的なところを教えてほしい。	今年度、猿の生息調査を行い、それをもとに計画を立てて行きたい。
前山町は道路は狭いが、最近は開発業者の10トン車等が入ってくる。3年前に、「道狭し」、「スピードおとせ」等の看板を設置してほしいと要望したが、未だ実施されない。	具体的な場所を教えていただきたいのと、業者にも言うので個別に教えてほしい。
藤里団地へ上がってくところの側溝の蓋をしてほしい。以前一回蓋をしてくれたが、蓋がずれて落ちてしまった。そのため蓋を撤去してもらったが、再度どうしてくれるか返事が欲しい。	担当に確認します。
藤里団地へ上がってくところの木の枝がすごく伸びている。倒木すると危ないので対策してほしい。	樹木は民地なので、所有者に話をしたい。

要望・意見内容	市長回答
五斗代橋から藤里団地の入り口のところ、急斜面の道路を上がった場所であり、勢いよく上がってきた車と子どもの接触が危ないので対策してほしい。	道路標記など、また相談させてもらいたい。
樹木は民地なのでできないと聞いたが、前山の場合は元々山であり自然の木がはえているので、庭木とは分けて考えてほしい。市ができない場合は補助金など、安く切れる方法を考えてほしい。	交通安全や防犯上課題がある場所は市が切って、費用を請求する方法もあるが、難しい話であり、宿題とさせていただきたい。
樹木の伐採について、南伊勢町は半額補助、鳥羽市は全額補助があると聞いた。伊勢市も考えていただきたい。	倒木の補助については勉強する。
団地の水場、マムシがおり危険であるが、倒産した会社の所有であり手が付けられない。市でその土地を買って草刈りできないか。	市が団地の区画を買うのは難しい話。管理の部分で手伝いできることがあれば相談してほしい。
道路の異常通報アプリを使えば、要望書はいらなくなるか。また、回答はもらえるのか。	要望書がある方が地域の声分かる。道路の異常通報アプリについては、回答はしない。
獣害対策アプリとの関連付けはできないか。獣害対策アプリをもっとPRしてもらい、利用数の公表もしてほしい。	(市からの回答) 獣害対策アプリとの関連付けは難しい。これから広報等でPRしていく。公表できるものについては情報提供を行っていく。
市のパトロールの2名は、巡回中に花火を撃てないと聞いた。撃ってもらえないか。	(市からの回答) 追い払う方法は花火以外にピストル等もあり、追い払いも行っている。
朝の通学時、小学生が歩道を歩いているので、自転車通学の中学生はそれを避けるように車道と歩道を行き来する。歩道の段差で転倒しているのをよくみるので何とか対策できないか。	具体的に場所を教えていただき、検討したい。宮山小学校と厚生中学校に、交通安全プログラムに入れてもらえるように伝えたい。